

公益財団法人かながわトラストみどり財団様助成事業  
やまゆり再生／『かなユリ・チャレンジ』プロジェクト  
～ 秋の作業 （2 年目に向けて）～

（社福）進和学園 & （株）研 進

1. 球根の堀上げ



昨年 11 月に植えた球根 5 個は、何れも脱落せずに残っていた。  
1 年前は、小粒 2cm～大粒 4cm 程であったが、写真のようにかなり大きく生長してズッシリとした重みを感じるまでとなっている。（2018 年 10 月 10 日）



球根は、花を咲かせたものよりもツボミの段階で摘み取り花を咲かせなかった方が肥大していることが確認できる。（2018 年 10 月 10 日）



## 2. 球根より鱗片を採取



球根の周辺には、黄色味を帯びた鱗片が幾重にも重なり形成されていた。  
鱗片は、約 20 個を採取。  
今回、球根は、木子（小球根）を切り離して 9 個に増えた。（昨年、5 個を植えた）  
（2018 年 10 月 10 日）

注意深く、鱗片を剥がして、  
①球根の植え替え・栽培  
②鱗片からの栽培  
の二つに分けて栽培する。

## 3. 球根の植え替え（2 期目）と新規植え付け

球根は、同じ場所での栽培は避けて場所を変えて植え替える。今回、次の 2 ヶ所に分けて植え替え（2 期目）及び新規植え付けを実施した。

\* A 地点：福祉工場「しんわルネッサンス」中庭（初年度の場所から数m離れた場所）

\* B 地点：福祉工場「しんわルネッサンス」所有の畑の一角

A 地点：中庭（2018 年 10 月 10 日）



B 地点：畑の一角（2018 年 10 月 15 日）



B 地点には、  
球根の他に鱗片も  
植え付けることを  
考慮し、赤玉土（小粒）  
と腐葉土を混ぜて地盤  
づくりを実施。  
（写真右）





(A地点：中庭 大きい球根 3 個を植え付け)



B 地点：畑の一角 小さい球根 6 個植え付け)



球根は、消毒する場合もあるが、今回は消毒不要と判断して植え替えた。



B 地点には、今回、採取した木子（小球根）を含めて植えた。



地表部は、土を振るって細かい土をかける。



B 地点の球根の植え付け完了。  
続いて、今回、新たに採取できた鱗片を同じく B 地点に植え付ける。⇒ 次ページ参照。

福祉工場「しんわルネッサンス」中庭



#### 4. 鱗片からの栽培

上記2. で採取した鱗片約 20 個（サイズは 1～3cm と多様）をB地点（福祉工場「しんわルネッサンス」所有の畑の一角）に木子（小球根）と合わせ植え付けた。



球根から剥がして採取した鱗片を根元を下方にして土に突き刺すように植え付ける。その上に、軽く土（赤玉土と腐葉土を混ぜたものを追加）を被せ完了。

栽培場所を明示し、侵入を防ぐために周囲に竹串を打ち込む。（2018 年 10 月 15 日）



小さな球根 6 個と鱗片を植えたB地点（畑の一角）

#### 5. 種子の発根と植え付け

今回、かながわトラストみどり財団様から発根した種子を譲り受け、プランターに播種した。プランターの土は、赤玉土（小粒）70%、腐葉土 30%を混合使用。



昨秋に採取した種子で、写真のように白い根が生えた状態のものを財団より譲り受け、プランターにムラが生じないように留意して蒔いた。

（次ページへ）





種子を蒔いた後、上部を土で覆い、最後に水遣りを行い完了。 （2018 年 10 月 10 日）

## 6. 種子の保管（経過観察）

昨秋、採取した種子を発根させるため、今年 1 月に密封式ビニル袋を用いて、バーミキュライトとベンレート 500 倍液を注いで冷暗所で室内保管していたが、現時点、発根は認められなかった。そこで、再度ベンレート 500 倍液を注ぎ湿気を補充した上で、密封式ビニル袋 3 つに分けて、地中保管 2 ケ所と冷暗所室内保管を行い経過観察することとした。



A 地点（福祉工場・中庭）の球根植え替え場所に隣接する 2 ケ所にビニル袋を埋めて保管。  
（2018 年 10 月 15 日）

